

# Weekly Report

## 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2017-2018

会長 田中 雅貴 副会長 林 美喜枝  
幹事 原田 哲 副幹事 田中 雅承  
会計 笹本 哲翁 会報 小池 章治

事務所 〒409-3812 山梨県中央市乙黒158-2  
(山梨ビジネスパーク(株)カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>  
FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)

【例会日】 毎週金曜日 12:30~13:30  
【例会場】 (株)カルク (055-273-5344)

Rotary 



ロータリー：  
変化をもたらす

2017~2018 R.I会長  
イアン H.S. ライズリー  
第2620地区ガバナー 松村 友吉

2017年 9月 22日 第1782回例会

### 本日のプログラム

#### 卓話 青少年奉仕委員会

### 会長挨拶

#### 「IoTをご存知ですか」

会長 田中 雅貴

みなさんこんにちは。いつも沖縄の話をさせていただいていますが、今回は本職のITのことについてお話しさせていただきます。

最近、IoTという言葉が色々なところで聞く機会が多いと思いますので、IoTについてお話ししたいと思います。

IOTとは「Internet of Things」の略称で、解説は以下になります。

『IoTとは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと』

ちょっと難しいかもしれませんね。

実は皆さんの周りにはインターネットに接続できるものが増えてきています。いくつか挙げますと、車のカーナビ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジなどです。これはほんの一例ですが、

今後もどんどん増えてくると考えられています。

IOTでインターネットに接続されるものが増えると問題になるのが、セキュリティです。実際に町中の防犯カメラの映像が盗まれたりされています。

便利になると同時に危険も増えます。しかし物が売れないメーカーは、付加価値と称してIoT化を進めるでしょう。今後、社会的な問題になるかもしれません。

ぜひ、今日帰ったら自宅の家電などがインターネットにつながっていないか、見てみてください。

今日の会長挨拶は以上です。

### 幹事報告

幹事 原田 哲

1. 前回の「松村友吉ガバナー公式訪問例会」は大変ご苦労様でした。

次回の例会で「公式訪問会長幹事懇談会」の報告をお願いしたいと思います。

2. 10月19日から行われます「子ども絵画展」の応募締切が9月20日ですので、問い合わせがありましたらお知らせ下さい。

3. 日本ロータリー財務室より、9月のロータリーレートは1ドル109円との連絡がありましたので、お知らせ致します。

#### 4. 例会変更のお知らせ

☆市川大門ロータリークラブ☆

9月20日(水)は「特別休会」

### 前回の例会記録

#### 第1781回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	8名	3名	73%	2名	100%

**届出欠席者** 田中 雅貴君 竹野 満君

小池 章治君

**届出失念者** なし

**出席免除者** なし

**メイクアップ** 樋貝 浩久君 小池 章治君

**ビジター** なし

**備考** なし

**ニコニコ BOX**

• な し

### ★ 職業奉仕委員会 紙上卓話 ★

#### 「心をこめて掃除する(1)」

新津 春子先生

「器の大きい人・ふところが深い人」と聞いて、すぐ思い浮かぶのは、私の掃除の師匠である鈴木優(すずきまさる)さん(元日本空港テクノ常務取締役)です。鈴木さんは私に心をこめて掃除をするという考え方の基本を教えてくれた方です。

そもそも私が掃除の仕事に就いたのは十七歳のときです。中国残留孤児の二世として来日し、両親もすぐに定職に就けず、家計を助けるためにアルバイトを始めたのがきっかけです。学校が始まる前とあと、毎日数時間、ビル掃除のアルバイトをしていました。その頃は、少しでも早く終わらせたくて、今思うとずいぶん雑な仕事をしていました。

高校を卒業してメーカーに就職したあと、専門的な知識を身につけたくて、掃除の専門学校

に入学しました。この学校で講師をしていたのが鈴木さんだったのです。鈴木さんからもっと学びたくて、就職は鈴木さんがいる日本空港テクノに入社させていただきました。

日本空港テクノは羽田空港の清掃を請け負っている会社です。毎日ほぼ固定した人が利用するオフィスビルと違って、空港は三百六十五日二十四時間、いろいろな国籍、性別、年齢の人たちが一過性で通りすぎていきます。そのためどんな汚れ方をするのか予測が付きません。未知の汚れや課題に挑戦する毎日は、負けず嫌いの私をおおいに刺激してくれました。

#### —モノを大切に丁寧に扱う—

当時の私は、自分一人が頑張れば、きれいになると思い上がっていました。広い空港をきれいにするにはみんなのチームワークが必要だったのに、そんなことはこれっぽっちも考えないほど自分勝手な人間だったのです。鈴木さんは心が狭い私をどう指導するのか、考えあぐねていたに違いありません。

入社して四年目のある日、私は鈴木さんから「全国ビルクリーニング技能競技会に出場してみないか」と打診を受けました。二年に一度開かれるこの大会は、地区予選を勝ち抜いた一位、二位の選手たち十八名によって、ナンバーワンの技術を競い合うものです。私は優勝賞金につられて、出場を快諾しました。

全国大会の一位をめざして鈴木さんの特訓が始まりました。ところが東京地区の予選で、私はねらっていた一位ではなく二位になってしまったのです。敗因は「優しい気持ちで心をこめていないからだ」と鈴木さんから言われました。

でも私にはその意味がわかりません。

「優しくすると言ったって、イスもモップもみんなモノ。死んでるじゃないですか」と私は口をとがらせて反発しました。それでも鈴木さんは「心をこめているかどうかは、見る側からすぐわかる」と辛抱強く教えてくれました。

(続く)

次回のプログラム 10月6日(金)

卓話 プログラム委員会